

平成23年12月期
中間決算説明会資料

株式会社 電算システム

【証券コード：3630】 東証二部 名証二部



I. 平成23年12月期中間決算概要

平成23年12月期中間決算の総括	3
（参考）過去実績及び計画との比較	4
セグメント別売上高・営業利益	5
情報サービス事業の概要	6
収納代行サービス事業の概要	7
（参考）収納代行サービス事業の状況	8
財務情報（1）貸借対照表	9
財務情報（2）キャッシュフロー	10

II. 平成23年12月期業績の見通し

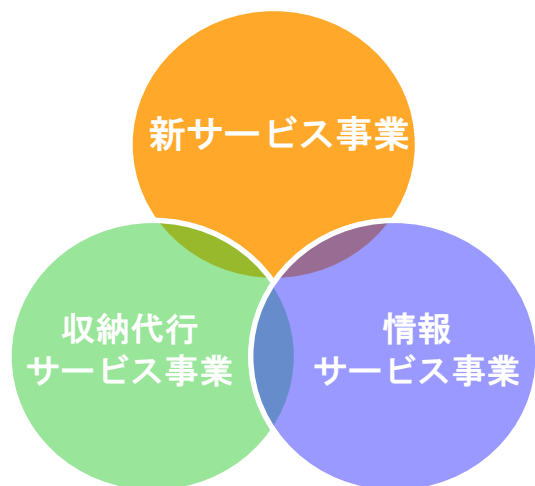
平成23年12月期業績の見通し	12
セグメント別 平成23年12月期業績の見通し	13

III. 中期経営計画とその進捗状況

中期経営計画概要	15
成長が期待できる新規事業	16
新サービス（DSKスマート送金サービス）について	17
情報サービス事業の基盤強化	18
中期経営計画	19

IV. 参考資料

株式関連情報	21
--------	----



I. 平成23年12月期中間決算概要

単位: 百万円(百万未満切捨て)

全社 (連結)	H22年12月期	H23年12月期		前期比	計画値比較
	上期実績	上期計画	上期実績		
売上	9,089	9,820	10,026	10.3%	2.1%
営業利益	332	280	285	△14.2%	1.8%
営業利益率	3.7%	2.9%	2.8%		
経常利益	337	280	288	△14.5%	2.9%
経常利益率	3.7%	2.9%	2.9%		
当期純利益	162	150	141	△13.0%	△6.0%
純利益利益率	1.8%	1.5%	1.4%		

売上については、前期比約10%増、計画比2%増とほぼ計画通りに推移しております。一方、利益面においては昨年実績を下回るものの、ほぼ計画通りに推移しております。

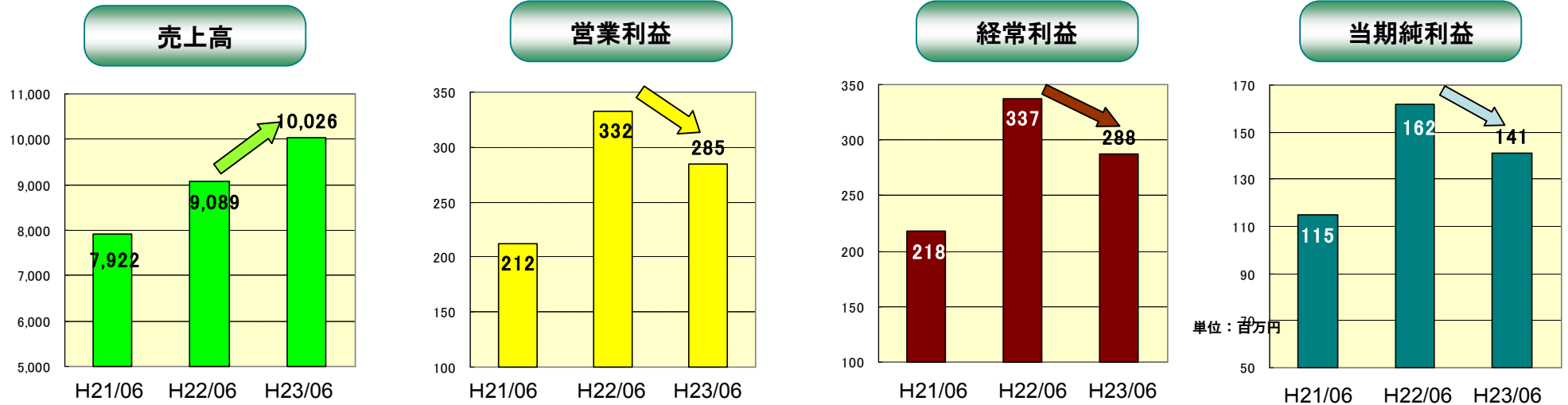
【利益減少（前期比）の主な理由】

前期は子会社である(株)ソフトテックスでの医療パッケージ販売による貢献が一過性のものとして発生しておりました。特に上期に発生しており、その点も含め、期首の段階で織り込み済みの計画（減益）となっております。

過去実績比較

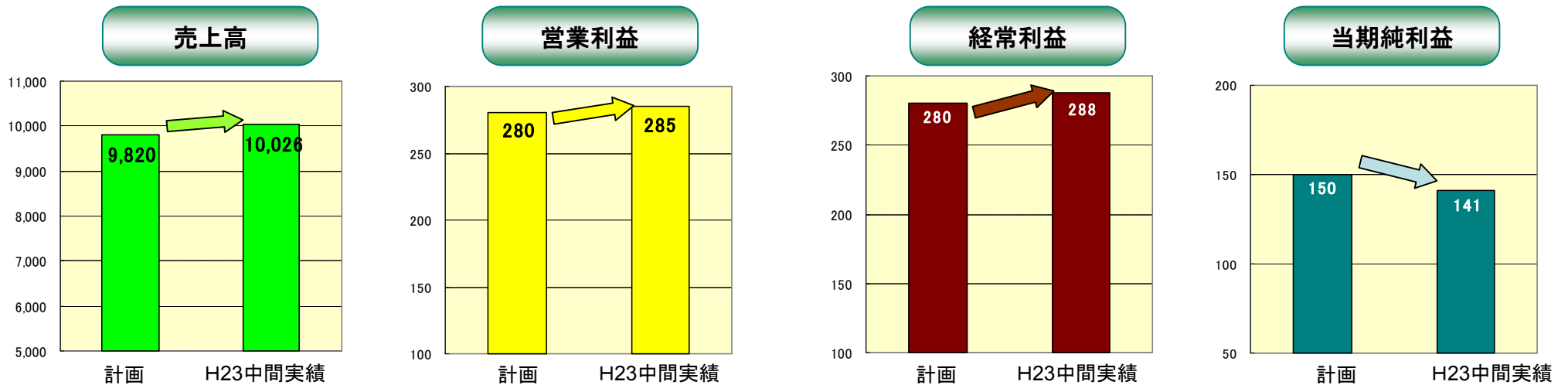
売上高では半期は過去最大となり、利益面では昨年の子会社からの利益寄与分が減少し、減益となりました。

単位：百万円



計画比較

計画に対し微増ながら上回り、順調に推移しました。

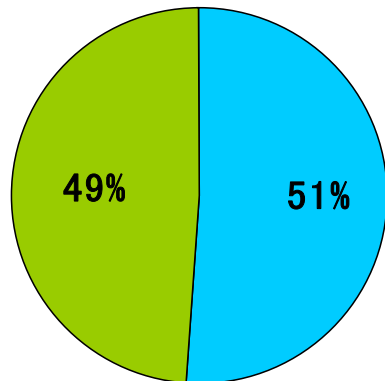


単位：百万円

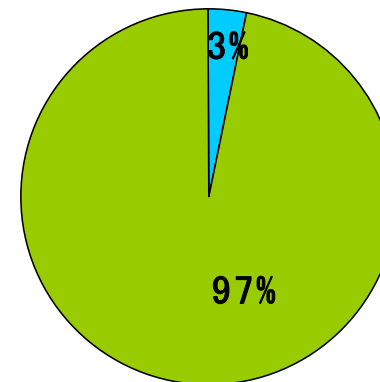
連結

セグメント別	H22年12月期	H22年12月期	H23年12月期		前期比	計画比	通期計画	進捗率
	実績	上期実績	上期計画	上期実績				
情報サービス事業								
売上	10,368	4,984	5,040	5,116	2.6%	1.5%	11,540	44.3%
営業利益	310	93	25	9	△90.3%	△64.0%	325	2.8%
利益率	3.0%	1.9%	0.5%	0.2%	-1.7	-0.3	2.8%	
収納代行サービス事業								
売上	8,784	4,104	4,780	4,909	19.6%	2.7%	9,670	50.8%
営業利益	478	237	255	269	13.5%	5.5%	500	53.8%
利益率	5.4%	5.8%	5.3%	5.5%	-0.3	0.1	5.2%	
	H22年12月期	H22年12月期	H23年12月期					
	実績	中間実績	中間計画	中間実績	前期比	計画比	通期計画	
本部調整費用	0	2	0	6	200.0%	-	0	0

売上構成比



営業利益構成比



■ 情報サービス事業
■ 収納代行サービス事業

単位：百万円

情報サービス事業	H21年12月期	H22年12月期	H23年12月期		前期比	計画比
	上期 実績	上期 実績	計画	実績		
売上高	4,726	4,984	5,040	5,116	2.6%	1.5%
(内訳)						
情報処理サービス	1,226	1,390	1,850	1,515	9.0%	△18.1%
システムソリューション	2,244	1,751	1,435	1,290	△26.3%	△10.1%
システムインテグレーション	903	1,091	1,215	1,817	66.5%	49.5%
商品販売	352	750	540	490	△34.7%	△9.3%
営業利益	262	93	25	9	△90.3%	△64.0%

【サービス区分ごとの概要】

● 情報処理サービス

郵政関連のBPO業務や請求書作成代行等のアウトソーシング業務が純増で推移。

● システムソリューションサービス

ソフトウェア開発案件においてプロジェクトの縮小が影響。

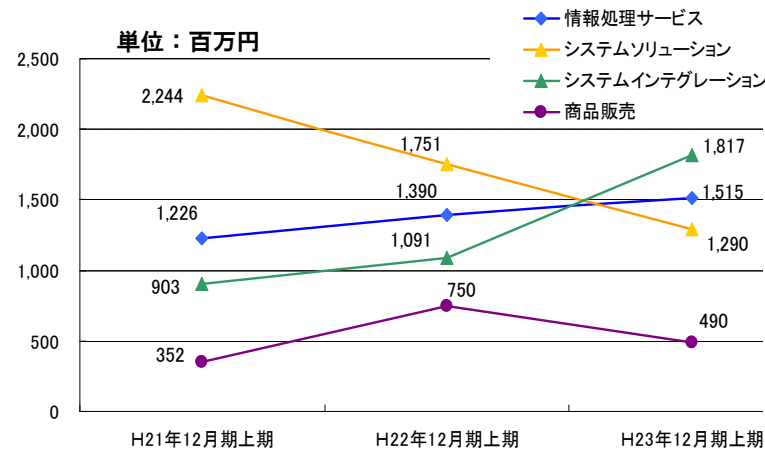
● システムインテグレーションサービス

Google事業におけるGoogle Appsの販売が好調に推移。

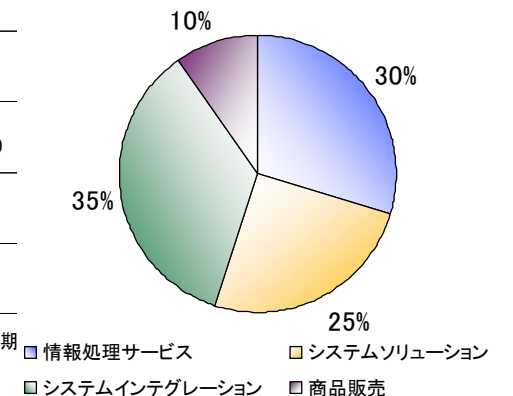
● 商品販売

前期の連結子会社のアプリケーション販売の特需分が無く、販売数が減少し大きく影響。

【サービス区分別 上期売上高実績推移】



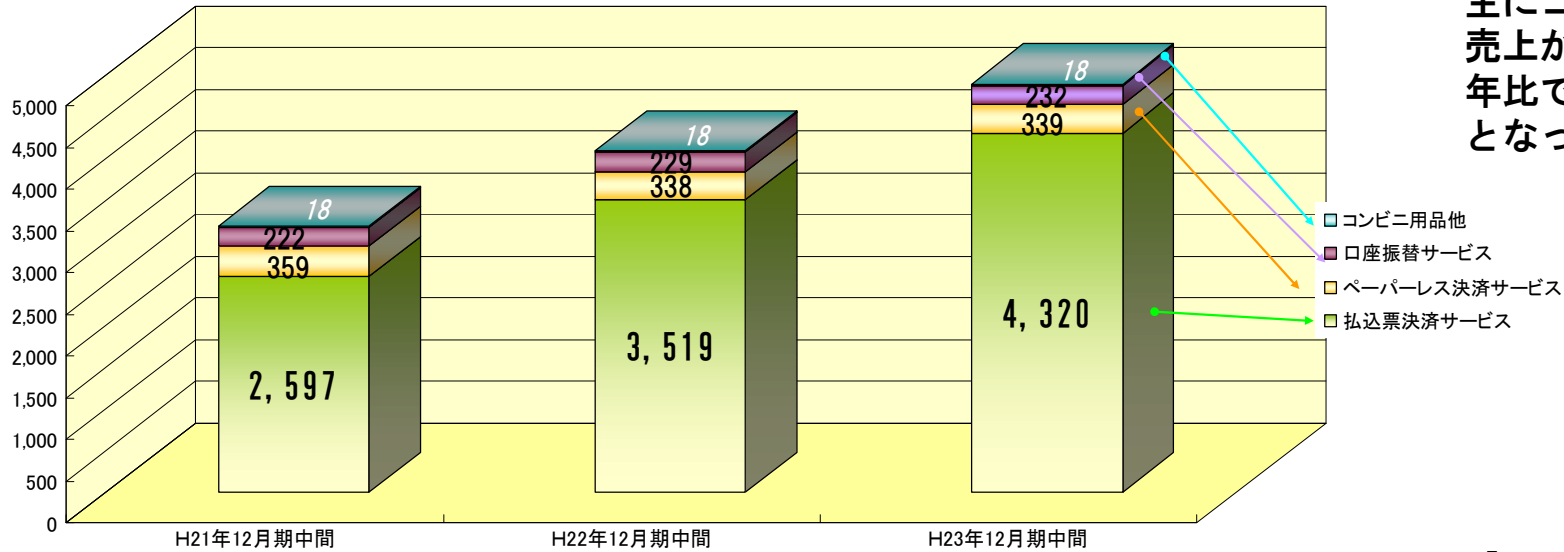
平成23年12月期
上期サービス別売上比率



【サービス区分別の概要】

サービス区分別 売上高実績の推移

単位：百万円

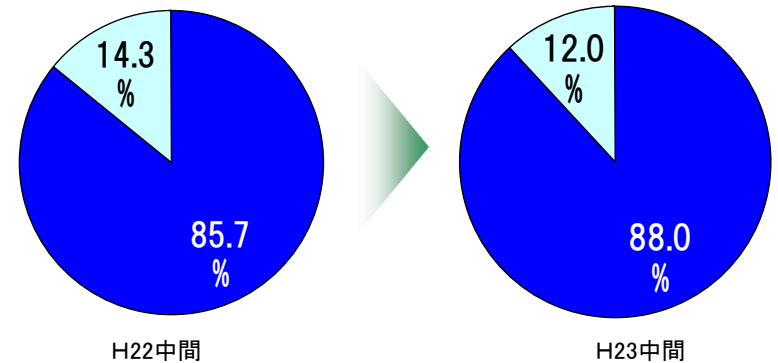


● 払込票を使ったサービス

主にコンビニ収納代行サービスの売上が順調に増加しています。昨年比で801百万円増（22.8%増）となっています。

- コンビニ用品他
- 口座振替サービス
- ペーパーレス決済サービス
- 払込票決済サービス

【サービス売上構成比】



サービス別売上高	H22年12月期中間	H23年12月期中間計画	前期比	計画比
	実績	計画		
払込票決済サービス	3,519	4,144	22.8%	4.2%
ペーパーレス決済サービス	338	369	0.3%	△8.1%
口座振替サービス	229	233	1.3%	△0.4%
コンビニ用品他	18	18	0.0%	0.0%
送金サービス	0	16	-	△100.0%
合計	4,104	4,780	19.6%	2.7%

- 払込票決済サービス
- ペーパーレス、口座振替、コンビニ用品他サービス

●前期比（中間時）

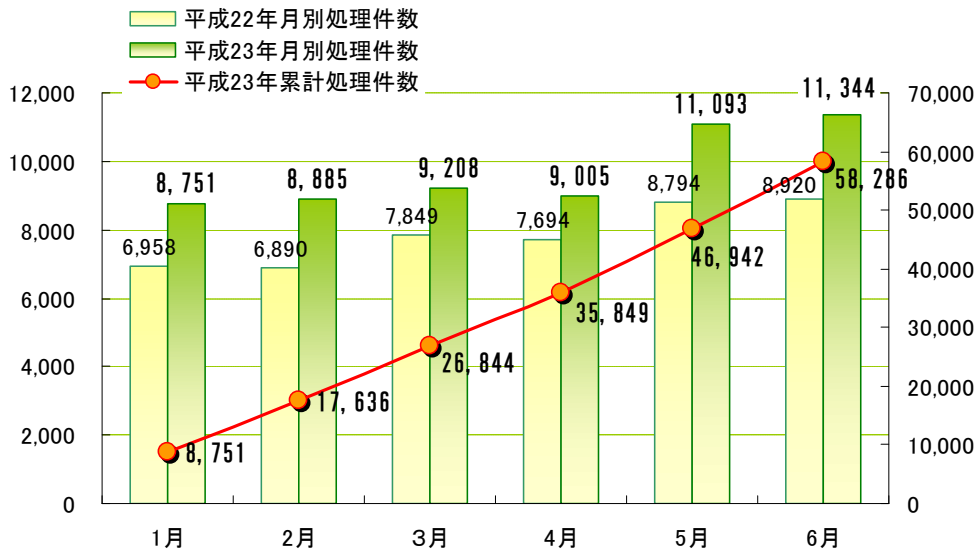
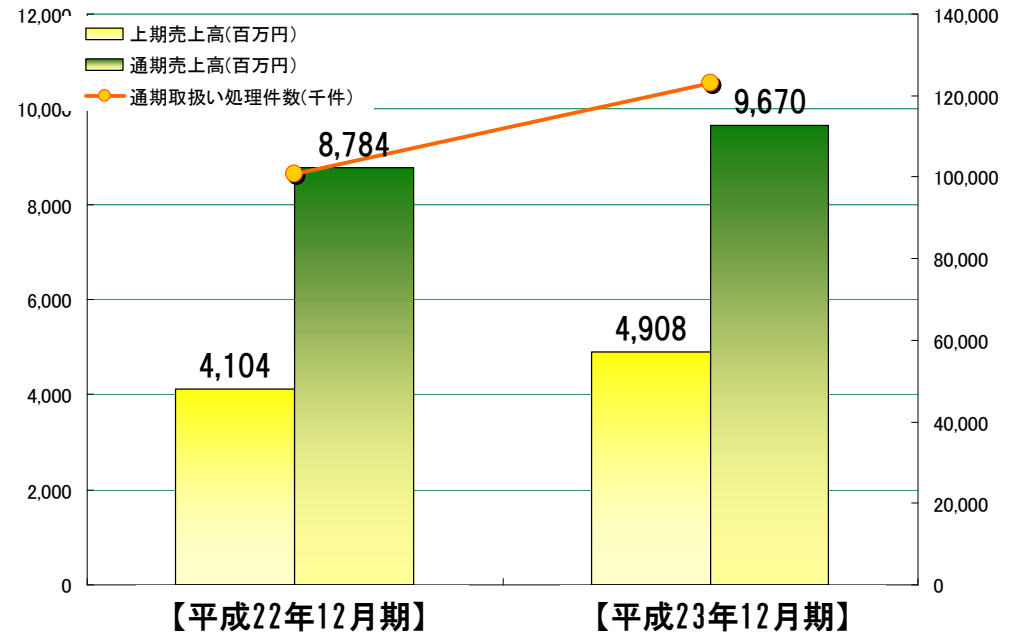
売上高 804百万円増（19.6%増加）
 処理件数 11,181千件増（23.7%増加）

●平成23年12月期目標

売上高 886百万円増（10.1%増加）
 処理件数 22,139千件増（22.0%増加）

【震災の影響について】

3月以後、4月は若干の落ち込みが見られたものの、その後は回復し、震災の影響は一時的なものとなりました。



上期	H22年12月期 上期実績	H23年12月期 上期実績	増減	伸び率
売上高(百万円)	4,104	4,908	804	19.6%
取り扱い処理件数(千件)	47,107	58,288	11,181	23.7%

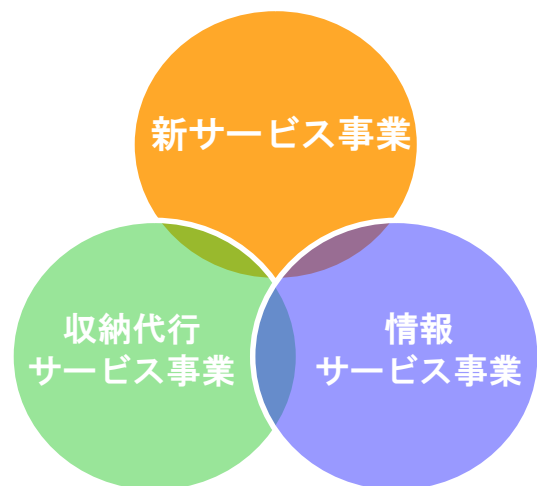
通期	H22年12月期 通期実績	H23年12月期 通期目標	増減	伸び率
売上高(百万円)	8,784	9,670	886	10.1%
取り扱い処理件数(千件)	100,861	123,000	22,139	22.0%

単位：百万円

連結貸借対照表		H22年12月期期末	H23年12月期上期	増減額	主な増減理由
		金額	金額		
流動資産	16,409	18,798	2,389	【増減理由】 金銭の信託 27億97百万円 繰延税金資産 1億81百万円 【減少理由】 現金及び預金 5億56百万円 受取手形び売掛金 1億92百万円	
固定資産	2,617	2,594	△ 23		
資産合計	19,026	21,392	2,366		
流動負債	13,159	15,483	2,324	【増加理由】 収納代行預り金 18億72百万円 未払法人税等 1億42百万円 【減少理由】 買掛金 36百万円	
固定負債	318	323	5		
負債合計	13,477	15,806	2,329		
純資産合計	5,549	5,585	36	【増加理由】 利益剰余金 23百万円	
負債・純資産合計	19,026	21,391	2,365		

単位：百万円

	H23年12期上期 金額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	718	<p>【増加理由】</p> <p>税金等調整前四半期純利益 2億80百万円</p> <p>その他流動負債の増加 2億15百万円</p> <p>売上債権の減少 1億92百万円</p> <p>減価償却費 1億28百万円</p> <p>【減少理由】</p> <p>法人税等の支払 1億80百万円</p> <p>たな卸資産の増加 43百万円</p> <p>仕入れ債務の減少 36百万円</p>
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 230	<p>【減少理由】</p> <p>有形固定資産の取得 1億8百万円</p> <p>無形固定資産の取得 62百万円</p> <p>投資有価証券の取得 46百万円</p>
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 118	<p>【減少理由】</p> <p>配当金の支払 1億17百万円</p>
現金及び現金同等物の増加額	368	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,849	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,217	—



Ⅱ. 平成23年12月期業績見通し

単位：百万円

通期見通し (連結)	H22年12月期	H23年12月期			通期前期比	
	通期実績	通期見通	上期実績	進捗率	増減	伸び率
売上	19,153	21,210	10,026	47.3%	2,057	10.7%
営業利益	788	825	285	34.5%	37	4.7%
営業利益率	4.1%	3.9%	2.8%	-	-0.2	-
経常利益	802	820	288	35.1%	18	2.2%
経常利益率	4.2%	3.9%	2.9%	-	-0.3	-
当期純利益	422	450	141	31.3%	28	6.6%
純利益利益率	2.2%	2.1%	1.4%	-	-0.1	-

<平成23年12月期通期業績見通しのポイント>

※期首計画に対し変更はありません。

- 今期は、特に利益面において下期偏重の予想をしており、新サービス、総合決済プロバイダーに向けた取り組み、及びクラウド・コンピューティングへの対応を通じ、昨年実績に対し増収増益の見通しを実行してまいります。

単位：百万円

通期見通し (セグメント別)	H22年12月期	H23年12月期			通期前期比	
	通期実績	通期見通	上期実績	進捗率	増減	伸び率
情報サービス事業						
売上	10,368	11,540	5,116	44.3%	1,172	11.3%
営業利益	310	325	9	2.8%	15	4.8%
営業利益率	3.0%	2.8%	0.2%	-	-0.2	-
収納代行サービス事業						
売上	8,784	9,670	4,909	50.8%	886	10.1%
営業利益	478	500	269	53.8%	22	4.6%
営業利益率	5.4%	5.2%	5.5%	-	-0.2	-

<平成23年12月期通期業績見通しのポイント>

- 情報サービスは、売上において例年若干の下期偏重の傾向があり、今期も同様と見込んでおります。利益面においては上期に事業改善コストが集中する計画となっており、通期見通しは期首の開示計画値に変更はありません。
- 一方、収納代行サービスは利益先行となっていますが、これは下期には新サービス開始に向けて費用の増加を見込んでいるためです。



Ⅲ. 中期経営計画とその進捗状況

成長が期待できる新規事業

- 返金・送金サービスなどの新市場向けサービスの展開

収納代行サービス事業の拡大

- ペーパーレス決済サービスの強化
- 総合決済プロバイダーとして充実したサービスの提供

情報サービス事業の基盤強化

- クラウド・コンピューティングへの対応
 - ★ DSK-IDC(データセンター)事業の推進
 - ★ Google関連サービスの拡大
- ニッチ領域であるデンタルクィーン(診療レセプト計算ソフト)の業務ソフトを中核としたパッケージビジネスの推進

新サービス
New Business

総合決済
プロバイダーへ
(収益性の高い情報・
サービス企業へ)

クラウド事業の
推進

Newビジネスの創出への取り組み状況

●返金・送金サービス

平成23年2月1日付けで資金移動業者登録の完了
(登録番号 東海財務局長 第00001号)

まずは、企業から消費者（BtoC）向けの送金サービスを実施。その手始めとして返金業務を対象にした送金サービスを既に7月から開始。

●ギフトカード事業

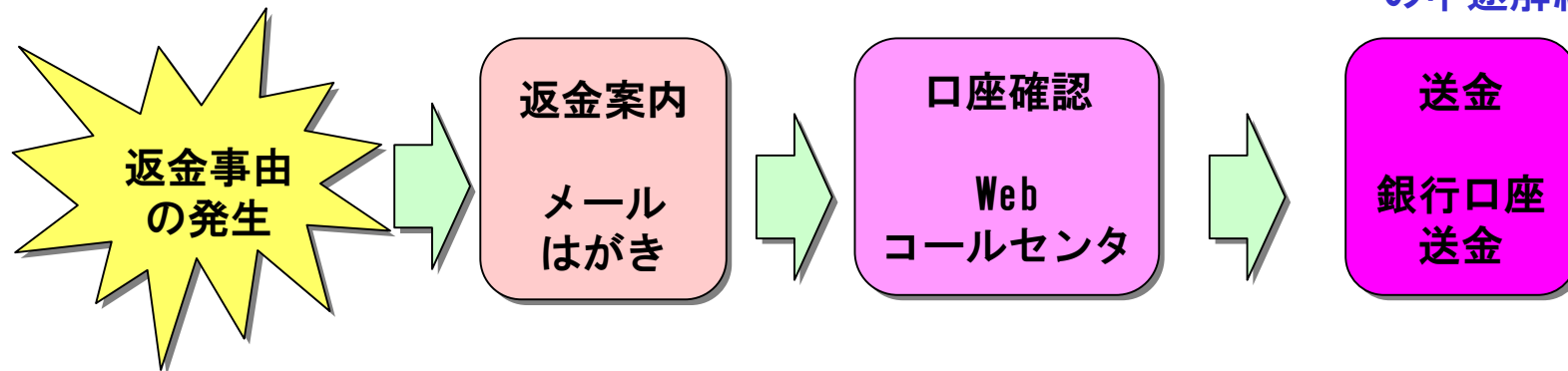
平成23年2月14日よりTOHOシネマズが発行するオリジナルギフトカード「SKE48 3DシネマライブVol.1 制服の芽 公演2011」をチケットぴあ、株式会社ソフマップ（秋葉原）より販売開始。

収納代行サービスをコンビニ以外の一般小売業でも受付可能とするサービス「Biz@gent」と併せ、ギフトカードを販売する仕組み（ギフトカードモールなど）を構築中

新サービス
New Business

平成22年4月1日に施行された「資金決済法」の登録事業者に平成23年2月に登録完了。従来金融機関しかできなかった為替取引、すなわち送金業務に関わるサービスを7月より開始いたしました。

第1段階 返金サービス



◆適用分野

- ・商品代金等の返金
 - ★定期講読雑誌の廃刊
 - ★イベントのキャンセル
- ★通販商品の返品
- ★前払いサービスや商品
の中途解約

第2段階 サービス範囲拡大

- ・適用分野拡大
 - 返金以外のBtoC
 - BtoB
- ・送金手段の拡大

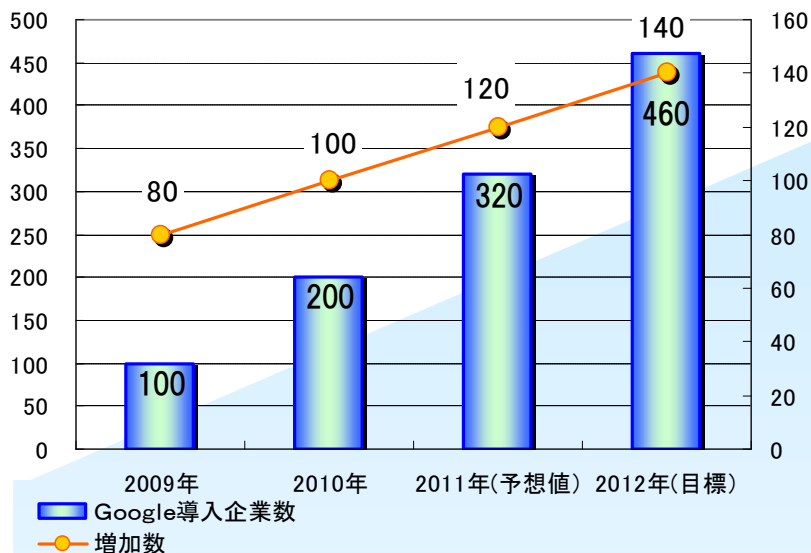
◆適用分野

- ・キャッシュバックキャンペーン
- ・イベントなどの日雇い賃金支払
- ・代理店への報酬支払

法人向けGoogle 日本一を目指して

① Google Appsの推進

～300社7万人以上の導入実績～



② Apps以外でのGoogle製品の拡大強化

～Google検索機能の決済ソリューションへの活用～

Googleコマースサーチの販売開始。

Googleコマースサーチとは

Googleインフラで、世界最高水準の商品検索、サイト分析をオンライン販売に活用できるソリューションサービスです。自社内に、検索のためのシステム資源を持つことなく、クラウドのパワーを有効活用できるメリットがあります。

クラウド事業の
推進

スマートフォン時代への対応

iPhone/iPad/Android アプリ開発

歯科総合ソフトウェア『デンタルクィーンV』リリース

クラウド化を見据えた製品として開発し、平成23年7月20日に販売を開始。

「DSK-IDC」の稼働率が順調に向上

- 平成23年12月期:売上高10%強(約20億円)増
- 平成24年12月期、平成25年12月期:
売上・利益共に約10%以上の増収増益を目指します。

単位：百万円

連結	H22年12月期 実績	中期計画 (H23年12月期～H25年12月期)					
		H23年12月期		H24年12月期		H25年12月期	
		計画	前期比	計画	前期比	計画	前期比
売上	19,153	21,210	10.7%	23,545	11.0%	25,810	9.6%
営業利益	788	825	4.7%	930	12.7%	1,050	12.9%
経常利益	802	820	2.2%	920	12.2%	1,040	13.0%
当期純利益	421	450	6.9%	505	12.2%	570	12.9%



IV. 参考資料

株式情報

発行済株式数(平成20年10月上場)	4,620,000株
内自己株式数(株式比率)	77,204株(1.67%)
株価(平成23年8月4日現在)	685円
時価総額(平成23年8月4日現在)	3,165百万円
1株利益(平成22年12月期 実績)	92.94
1株利益(平成23年12月期 予想)	99.06
PER(平成22年12月期 実績)	8.26
PER(平成23年12月期 予想)	6.92
配当金/利回り(平成22年12月期 実績)	26円/3.39%
配当金/利回り(平成23年12月期 予想)	28円/4.08%

大株主の状況<上位10名> 平成23年6月30日現在

株主名	保有状況	
	株式数 (株)	持株比率 (%)
電算システム従業員持株会	467,685	10.12
ヒロタ(株)	445,050	9.63
宮地 正直	200,035	4.32
(株)十六銀行	185,950	4.02
三井情報(株)	185,000	4.00
岐阜信用金庫	179,950	3.89
(株)大垣共立銀行	179,950	3.89
内木 一博	106,335	2.30
(株)トーカーイ	103,590	2.24
T I S(株)	100,000	2.16

Densan System Co.Ltd.
2011/8/4

